

A10 Lightning Application Delivery Service

パブリック/プライベート/ハイブリッドクラウド環境で、
アプリケーショントラフィック管理、セキュリティ、トラフィック分析機能を提供

概要

A10 Lightning Application Delivery Service (ADS) は、パブリッククラウドや、プライベートクラウド環境でアプリケーション配信とセキュリティを最適化することができるクラウドネイティブのソリューションです。コンテナやマイクロサービスベースのアーキテクチャのために開発された ADS は、DevOps のプロセスとスムーズに統合できます。

対応プラットフォーム



A10 Lightning Application Delivery Service (ADS) は、パブリッククラウドやプライベートクラウドで提供されるアプリケーションやサービス、セキュリティを最適化することができるソリューションです。クラウドによるアプリケーション提供を中心とした組織に ADS を導入することにより、IT 管理者は、運用を効率化することが可能になり、煩雑な作業から解放されるだけでなく、リスクも軽減することができます。

このソリューションでは、パブリック、プライベートおよびハイブリッドクラウドのアプリケーションに対して、コンテンツスイッチングや、負荷分散、セキュリティ、およびトラフィック分析機能などを含む革新的なレイヤ 4-7 機能が提供されます。

- **負荷状況に応じた処理容量の自動拡張:** 負荷状況によって自動的に拡張する負荷分散とアプリケーションセキュリティ機能により、可用性と運用効率が向上します。
- **独自のアプリケーションデータによる的確な意思決定:** アプリケーションごとの分析機能を使用してプロアクティブに問題を特定し、トラブルシューティングを効率化できるだけでなく、最適な処理容量を確保することにより、優れたユーザーエクスペリエンスを提供できます。
- **マルチクラウド構成によるアジリティの向上:** プライベート、パブリックまたはハイブリッドクラウド環境のワークロードをシームレスに管理して、柔軟に導入できます。
- **DevOps プロセスの強化:** コンテナとマイクロサービスをベースにしたアーキテクチャのために開発された ADS は、DevOps のプロセスともスムーズに統合できます。
- **サイバー攻撃の阻止とコンプライアンス要件の遵守:** 高度な新しい攻撃からアプリケーションを保護し、サービス断のない運用を実現し、ビジネスの継続性を確保できます。

セルフサービスモデルを提供することにより、アプリケーション開発チームは、アプリケーションごとの状況把握と管理が容易になり、チームのアジリティが向上します。マルチクラウドに対応し、パブリックおよびプライベートクラウドのサブスクリプションライセンスを用意していますので、柔軟な開発と開発コストの削減を実現できます。

Lightning ADSのアーキテクチャ

A10 Lightning ADSは従来のWebアプリケーションだけでなく、最新のマイクロサービスやコンテナベースのアプリケーションにも対応しています。このソリューションを使用すると、クラウド上で提供されるアプリケーションのパフォーマンスが最適化され、セキュリティとアプリケーションごとの可視化を実現できます。

制御プレーンとデータプレーンが完全に分離された Software-Defined の分散アーキテクチャにより、高い拡張性を提供します。これにより、A10 Lightning ADCのデータプレーンの要素が軽量化され、アプリケーション環境の近くに構成することも、アプリケーション環境に組み込むこともできるようになります。また、データプレーンの要素とポリシーは、Harmony Controllerから一元管理できます。

A10 Lightning ADCは、Harmony Controllerからの操作により、スケールアウトアーキテクチャーを持つクラスタ内で、自動的に構成されます。A10 Lightning ADCがどの場所に構成されていても（異なるクラウド、地域、環境など）、すべてのポリシーをHarmony Controllerから一元管理できます。

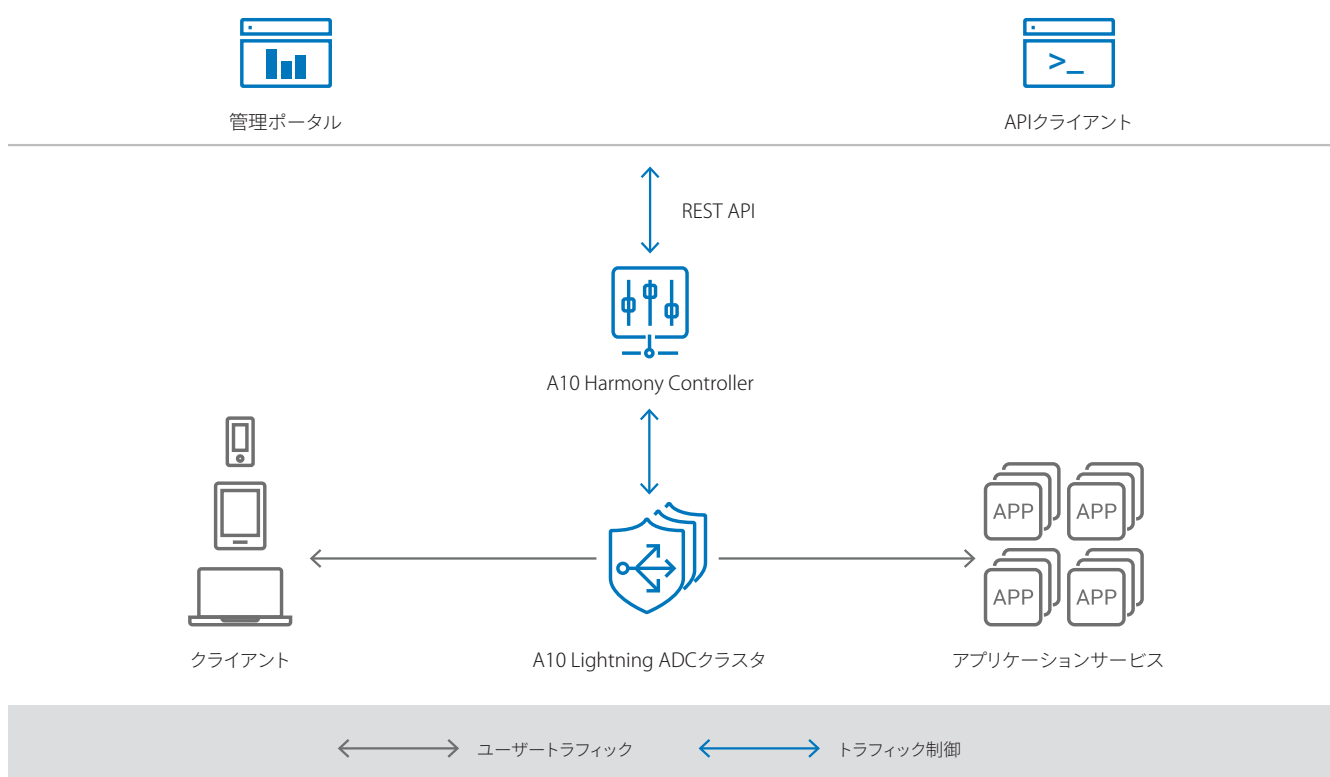


図1 A10 Harmony Controllerは、A10 Lightning ADC クラスタ、クライアントAPIなどを統合管理します。すべてのポリシーは、A10 Lightning ADCの構成場所にかかわらず、Harmony Controllerから一元的に管理することができます。

A10 Lightning ADSのコンポーネント



Harmony Controllerは、ポリシー設定、監視、制御、ビッグデータのリポジトリ、分析エンジンなどの一元管理環境を提供します。A10 Lightning ADC インスタンスで構成されるクラスターを集中管理することにより、ポリシーの適用と制御を実現します。

マルチテナント機能をサポートしており、複数のアプリケーション管理者に、ロールベースのセルフプロビジョニング環境を提供します。

拡張可能なマイクロサービススペースで構成されており、SaaSでの利用や組織のプライベートクラウド内に導入して利用することができます。

負荷状況に応じてA10 Lightning ADCを動的に追加することが可能なため、ピーク時を想定した余剰分の容量を事前に構成する必要がなくなります。



Lightning ADCは、クラウドアプリケーションとマイクロサービスのフロントエンドで、レイヤ4-7のアプリケーション配信ポリシーを実行するコンパクトで効率的なフルプロキシです。

アプリケーションサーバーを実行しているネットワークに導入し、暗号化されたセキュアな経路を通じてHarmony Controllerと通信します。

Lightning ADCは、Harmony Controllerによって集中管理されます。Harmony Controllerは、管理者が設定したポリシーと、トラフィック分析の結果に基づき、A10 Lightning ADCをアプリケーショントラフィックに合わせて自動的に拡張します。



Harmony Portalは、ロールベースのポータルサイトです。アプリケーション配信インフラストラクチャと関連するポリシーをアプリケーションごとに管理できます。セルフサービス機能により、IT管理者が全てのアプリケーションごとにインフラストラクチャを構成する必要がなくなり、アジリティが最大化し、運用コストを削減しながら複数のアプリケーションチームをサポートできます。



Harmony APIは、ADSのすべての機能をRESTfulインターフェイスを介して外部から利用可能にします。オーケストレーションや構成用APIは、Chef、Puppet、Ansibleなどの自動化ツールや、JenkinsなどのCI/CD(Continuous Integration/Continuous Deployment)ツールと統合できます。

分析用APIを利用することにより、外部からアプリケーションごとのメトリクスとログへのアクセスが可能になります。これにより、サードパーティのツールと統合して、カスタムダッシュボードを構成することもできます。

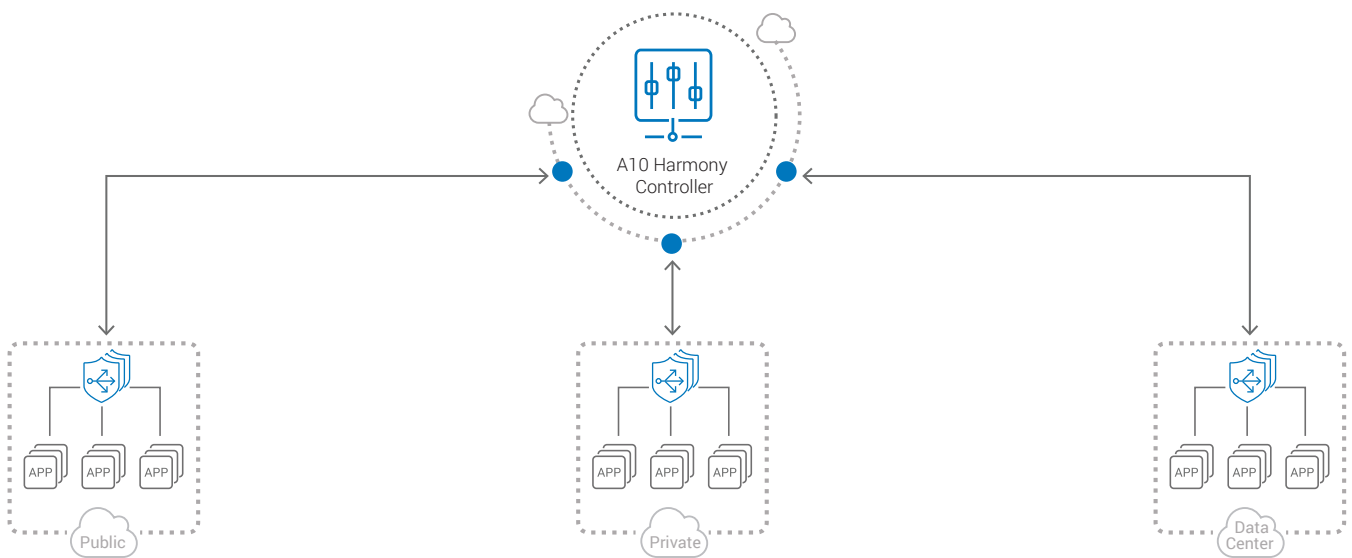


Harmony Controller : SaaS 型または、セルフマネージド型

A10 Harmony Controller は、A10 Networks の SaaS (Software-as-a-Service) または、セルフマネージドとして提供されます。SaaS 型では、A10 Harmony Controller のアカウントを取得すると、わずか数分でクラウド上のアプリケーションに対して負荷分散、セキュリティ、および分析機能を提供できるようになります。

セルフマネージド型は、プライベートクラウドにおいて管理可能なプラットフォームとして提供されます。Lightning ADS コンポーネントは、ソフトウェアのパッケージとして提供されます。社内クラウド内またはプライベートクラウド内の VM でコントローラを展開および管理する点を除き、セルフマネージド型も SaaS 型と同様に動作します。Harmony Controller は、さまざまなプライベートクラウドオーケストレーションツールと相互に動作します。

この Harmony Controller は、パブリッククラウド、プライベートクラウドまたはデータセンターの顧客のインフラストラクチャ内で実行している A10 Lightning ADC の管理に使用します。拡張性と柔軟性に優れ、複数のクラウドのインスタンス導入を同時にサポートできるため、選択肢も拡大します。



ADS のアーキテクチャを採用した場合、アプリケーショントラフィックは、A10 Lightning ADC のみを経由して送受信されます (Harmony Controller を経由することはありません)。このアプローチにより、顧客のネットワーク内でアプリケーショントラフィックのセキュリティが維持されます。Harmony Controller と A10 Lightning ADC の間では、暗号化されたセキュアなチャンネルを通して制御に関するメッセージ、メトリックおよびテレメトリデータのみが送信されます。

このアーキテクチャには、重要な 2 つの利点があります。

- セルフプロビジョニング、アジリティ、アプリケーショントラフィックの完全な制御が実現し、各アプリケーションに合わせて設定したポリシーをカスタマイズできます。
- インフラストラクチャのコストと管理のオーバーヘッドが大幅に削減され、最終的に総所有コスト (TCO) を削減できます。

機能と利点

A10 Lightning ADS 製品ラインが提供するクラウドネイティブのセキュアなアプリケーション配信サービスでは、アプリケーションの高可用性、高速化、セキュリティがすべて実現します。Software-Defined アーキテクチャに搭載されたコンパクトな ADC によって、高度な負荷分散、レイヤ7のWebセキュリティ、アプリケーショントラフィックの可視化と分析機能が提供されます。

マルチテナント対応 Harmony Controller は、セルフプロビジョニングと自動拡張機能(オートスケール)、各アプリケーションのリアルタイム分析などの機能をサポートした A10 Lightning ADC の動的なプールのポリシーを一元的に管理することができます。この Harmony Controller は、A10 のクラウドで SaaS 型として利用できる他、セルフマネージド型としても利用でき、A10 Lightning ADC はパブリッククラウドまたはプライベートクラウド、社内データセンター内に導入できます。



トラフィック管理

高度な負荷分散とサーバー監視機能を活用してアプリケーションの可用性を確保できるため、顧客満足度が向上します。また、Web と主要なインフラストラクチャをシームレスに拡張して顧客ニーズに対応し、ビジネスの継続性を確保できるため、収益が最大化され、サービスレベルアグリーメント (SLA) の要件を超えるサービスを提供できます。

- **オートスケールをサポートしたレイヤ4-7の負荷分散機能:** コンテンツスイッチングとセッションパーシステンスにより、従来の負荷分散を拡張できます。また、高度なサーバーヘルスチェックにより、応答可能なアクティブなサーバーにのみ要求が転送されます。
- **DevOps のアジリティ:** API を利用して Blue / Green デプロイメントや A/B デプロイメントなど、既存のプロセスや DevOps ツールチェーンに統合することができます。IT は「ピフォアアフター」分析によって、継続的な配信の効率化を実現できます。
- **ポリシーベースのトラフィック管理:** コンテンツスイッチングを活用して、ユーザーの要求にあわせてポリシー管理を最適化できます。
- **トラフィックサージからの保護:** トラフィックが急増すると、受信したリクエストのためのキューが一時的に作成されるため、サーバーへのリクエストが平準化され、アプリケーションの可用性が向上します。長期的なイベントでは、A10 Lightning ADC を柔軟に拡張して、継続的に増加するトラフィックが処理されます。



アプリケーションの高速化

エンドユーザーに迅速なサービスを提供して、競争上の優位性を確保できます。また、アプリケーション配信と重要なサービスの両方のインフラストラクチャの要件が減少するため、設備投資と運用コストを削減できます。

- **HTTP/2:** 新しい HTTP プロトコルのサポートにより待機時間が短縮され、ページの読み込み速度が高速化されます。
- **圧縮:** 要求されたサーバーコンテンツが圧縮されるため、過剰なコンテンツの送信が低減され、応答時間とページのダウンロードが高速化されます。
- **インメモリキャッシュ:** A10 Lightning ADC によって直接コンテンツがキャッシュされるため、以前に取得したアプリケーションデータが迅速に配信されます。また、遅延を防ぎ、余分な負荷がサーバーから排除されます。
- **負荷集中による処理をオフロード:** CPU、メモリ、および暗号化タスクを A10 Lightning ADC にオフロードできるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。SSL、TCP コネクションプーリング、ヘッダー / ボディのリクエスト / レスポンス書き換えなどのタスクは、A10 Lightning ADC で効率的に処理されます。



アプリケーションのセキュリティ

最新の高度な攻撃からアプリケーションを防御し、中断のない運用と、ブランドと収益の保護を実現すると同時に、規制遵守の義務も果たすことができます。

- **Elastic Web アプリケーションファイアウォール(WAF)：**高度なルールセットを使用して、SQL インジェクション、クロスサイトスクリプティング(XSS)、クロスサイトリクエストフォージェリ(CSRF)などのOWASP 上位の脆弱性から Web アプリケーションを保護できます。また、WordPress、Joomla、Microsoft Outlook Web Access (OWA) などの一般的なアプリケーションに最適化されたセキュリティルールがあらかじめ用意されており、簡単な操作で設定することができます。
- **攻撃からの防御：**高度なセキュリティによって、マルウェア、悪質なボットネット、アプリケーションレイヤのDDoS 攻撃からアプリケーションを保護します。トラフィックのパラメータを監視して、アプリケーションレイヤのDDoS、ボットネット攻撃、マルウェアが特定されます。また、安全なユーザートラフィックは許可され、アプリケーションサーバーのリソースと可用性に影響する前に、悪質なトラフィックが特定されてブロックされます。
- **アクセス制御：**HTTP リクエスト (IP サブネット、国、ブラウザまたは任意のカスタムパラメータ) で利用可能な情報を使用してアクセスを制御し、ユーザーのブロックや、ID の証明を要求できます。



アプリケーションの分析機能

Lightning ADS の分析機能は、アプリケーションの完全な可視化と制御を実現します。データに基づく詳細な分析と状況の把握によって、クラウドアプリケーションのパフォーマンスと稼働率を向上させます。

- **アプリケーションごとの分析：**アプリケーションレベルでの分析機能を利用して、アプリケーションのオーナーは、プロアクティブに問題を特定し、トラブルシューティングとキャパシティプランニングを加速できます。
- **包括的なレポート、可視化および分析：**特定のメトリクス、時間帯または相関関係について、詳細を確認できます。アプリケーションのダッシュボードから、アプリケーショントラフィック、セキュリティ、パフォーマンス、および状態に関する広範なメトリクスにアクセスできます。
- **アクセスログの一元化：**アプリケーションのアクセスログを使用すると、問題の根本原因の特定が簡略化され、修復作業に迅速に取り掛かることができます。
- **アラート：**さまざまな条件または条件の組み合わせでアラートの発信を設定できます。アラートは、手動によるアクションの場合、電子メールで送信され、自動化の場合、Webhook URL に送信されます。

パッケージと価格

A10 Lightning ADS は、ベーシックとプロの 2 種類のサービスパッケージで提供しています。価格は、使用している A10 Lightning ADC インスタンスの数ではなく、消費メトリクスの合計に基づいて設定されます。SaaS 型の場合、Harmony コントローラはどちらのパッケージにも含まれます。

ベーシック

ベーシックパッケージは、トラフィック管理、基本的なセキュリティ、分析機能で構成されています。

プロ

プロパッケージにはベーシックのすべてのコンポーネントが含まれ、Web アプリケーションファイアウォール(WAF)が追加されています。

セルフマネージド型の場合、A10 Harmony Controller のソフトウェアライセンスは Lightning ADS とは別に購入が必要です。価格は年間で設定されています。

ベーシックおよびプロの両方のサービスパッケージをサポートしています。

機能詳細

トラフィック 管理

機能	詳細	利点
サポートプロトコル	HTTP、HTTPS、HTTP/2、TCP、UDP、Websocket	多様なフロントエンドアプリケーションに対応
負荷分散方式	最小接続、ラウンドロビン、重みづけラウンドロビン、IP ハッシュ、IP ポートハッシュ	コストに応じて異なるサイズのアプリケーションインスタンスを構成可能
セッションパーシステンス	ヘッダー、クエリのパラメータおよびCookie ベースのセッションパーシステンス	サーバー側セッションを使用してアプリケーションをサポート
L7トラフィックスイッチング	あらゆるHTTPヘッダーのコンテキストに基づいて、トラフィックフローを異なるアプリケーションサーバープールに転送	適切なビジネスロジックでトラフィックフローをカスタマイズ
ポリシー設定	トラフィックをセグメント化してポリシーを適用	ポリシーエンジンによる詳細な制御
トラフィック操作	リクエスト/レスポンスヘッダー、URL、レスポンスボディのリライト	データフロー制御を強化し、インフラやページを変更する柔軟性を確保
トラフィック最適化	キャッシュ、圧縮機能によるオフロード	サーバーリソースの効率的利用
コネクションプーリング	バックエンドサーバーへのコネクションをプール	サーバーリソースの節約とパフォーマンスの向上
複数ドメインのサポート	1つのアプリケーションで複数のDNSドメインをサポート	異なるアプリケーションドメインを迅速に統合して組織変更やポートフォリオの統合に対応
セッション情報の共有	クラスタ内のすべてのLightning ADCでHTTPセッションのステートフルな情報を共有	顧客エクスペリエンスの向上
SSL オフロード	プロキシでSSLセッションを終端して処理をオフロード	アプリケーションサーバーのCPUリソース消費を節約
サーバーヘルスチェック / バックアップサーバーグループ	アプリケーションサーバーの状態を監視し、必要に応じてバックアップサーバープールでトラフィックを処理	アプリケーションの可用性向上
冗長構成 (HA) / Elastic スケーリング	トラフィックに合わせて自動的に拡張可能なLightning ADCのアクティブ/アクティブ構成	過剰な先行投資を回避してアプリケーションの可用性を向上
Blue/Green デプロイメント	新システム、運用前アプリケーションサーバーに対して本番トラフィックのミラーリングまたはステアリングを詳細に制御 Blue/Green アプリケーション分析	システム更新の信頼性と運用効率の向上

セキュリティ

機能	詳細	利点
Elastic Web アプリケーションファイアウォール(WAF)	OWASP Top10の脆弱性に対する防御	アプリケーションレイヤの攻撃とデータ盗難の回避
Application-Specific WAF	一般的なアプリケーション (WordPress、Joomla など) 用にプレセットされたセキュリティルールセット	一般的なアプリケーションに対する設定を簡略化
アプリケーションレイヤDDoSプロテクション	DDoS 攻撃の緩和	サービス可用性の向上
サーバーフィンガープリンティング防止機能	アプリケーションサーバー情報への攻撃者のアクセス防止	攻撃の可能性を抑制
マルウェア/ボットネット対策	マルウェア、および既知のボットネットからリソースを防御	リソースの最適化と感染の減少
アクセス制御	IPアドレスを含むHTTPリクエストのパラメータの組み合わせに基づいてトラフィックを許可/拒否	正規ユーザーのエクスペリエンスを向上
セッション監視/レートリミット	CookieまたはクライアントIPに基づいてセッションとセッション内のリクエストのレートを制限	エンドユーザーの挙動を分析して、ボリューム型のDDoS攻撃を緩和
機密情報保護機能	サーバーからクライアントへの機密情報の転送をブロックまたはマスク (クライアント側で、Cookieに保存されたデータを暗号化)	機密情報の安全な管理を実現

分析機能

機能	詳細	利点
レスポンスタイム監視	リクエスト/レスポンスサイクルの所要時間を監視	問題の根本原因の迅速な特定と修正
トラフィック分析機能	アプリケーションレベルからURLレベルまでの情報収集と挙動分析	トラフィックとサービス利用状況に関する理解の向上
セキュリティインサイトと分析機能	セキュリティと攻撃の状態をわかりやすく表示	インシデント対応時間の短縮
ヘルスチェック	サーバーの状態を監視	予防措置によるアプリケーション可用性の向上
リクエストごとの分析 / アプリケーションアクセスログ	アプリケーションのアクセスログと分析を一元的に管理	問題の根本原因を特定し、単発の問題をシステムの劣化と区別して迅速に修正

運用

機能	詳細	利点
RESTful API	DevOps ツールチェーンとシングルポイントで統合	インフラストラクチャのタスクを完全に自動化
マルチテナント対応の Harmony Controller (SaaS型またはセルフマネージド型)	アプリケーション開発チームごとに複数のテナントを作成可能	リソースへのアクセスを分離してセルフサービスをサポート
アラート	手動によるアクションの場合、電子メールで送信 (アラートレスポンスを自動化する場合、Webhook で送信)	優れたアラート応答システムによりアプリケーションの可用性が向上

可視化と分析

A10 Lightning ADS では、包括的な可視化と分析の機能が提供されます。ユーザーはさまざまなレポートを生成できます。以下の表は、管理者が入手できるレポートの例です。

トラフィック・ヘルスチェック チャート

レポート	説明	使用方法
Popular URLs Popular Services Popular Domains	受信するトラフィックが最も多いアプリケーション領域 (URL、サービス、ドメイン) に関する情報を提供	領域の最適化によるパフォーマンスと拡張性の向上
Worst-Behaving URLs Worst-Behaving Services Worst-Behaving Domains	応答時間が最長のアプリケーション領域 (URL、サービス、ドメイン) に関する情報を提供	リクエストごとの分析を使用してこれらの領域をデバッグし、パフォーマンスを改善
Response Codes	クライアントに返されているレスポンスコードに関する情報を提供	過剰なエラー (4xx と 5xx) が発生した場合、リクエストごとに分析してデバッグ
Secure vs. Open SSL Connection SSL Time	SSL を適用せずに公開しているアプリケーション、SSL 接続に失敗した回数、SSL ネゴシエーションの平均時間を表示	SSL のパフォーマンスパラメータが予想を超える場合は、選択した SSL プロトコル、暗号および証明書を確認
Connections	A10 Lightning ADC (フロントエンド) に接続するクライアント接続数と、A10 Lightning ADC によって作成されたサーバー (バックエンド) への接続数を表示	フロントエンドとバックエンドのコネクション数の差が拡大している場合は高いトラフィックレートを受信中、そうでない場合、サーバーの接続を切断する設定を確認してサーバーの負荷を軽減
End-to-End Response Time	リクエストからレスポンスまでの処理で消費された時間を様々なチャートで表示	最も多くの時間が費やされている通信の部分を最適化
Per-Server Health Charts CPU Utilization Average Latency Connection Errors Response Codes	アプリケーションサーバーのさまざまな状態のメトリクスをチャートで表示	メトリクスが制限を超えた場合は、サーバーをデバッグして修正

セキュリティ チャート

レポート	説明	使用方法
Top Threats	アプリケーションに対する脅威の可能性とそのボリュームの概要を表示	脅威の場合は詳細に分析
Per-Client WAF Events	クライアントからのWAF攻撃が疑われるトラフィックを複数のチャートで表示	リクエストごとの分析を行い、攻撃の場合はクライアントをブロックするか例外のルールを作成
Threats Trend	潜在的な攻撃のパターンをトレンドチャートで表示	トレンドに応じたセキュリティ対策の実施、攻撃に対抗する準備
Blocked Cookies	ブロックされたCookieをポリシー別に一覧表示(ブロックされた回数が最大のCookieは最上部に表示)	Cookieのセキュリティポリシーの微調整
Session Tracking	ブロックされた新しいアクティブなセッションのトレンド	レートリミットの微調整、またはインフラストラクチャの適切な拡張
Surge Protection	通信速度の低下とリソースの大量消費に關与するクライアントの一覧	サージ保護ポリシーの微調整
Surge Queue	トラフィックサージ時のリクエストキュー長のトレンド	キューが常に表示される場合はインフラストラクチャを拡張

リクエストごとの 分析

レポート	説明	使用方法
ログ	リクエストサイズ、レスポンスサイズ、送信元、リファラーの情報、リクエストを処理したサーバーの詳細とトランザクションの各部分の所要時間を含む各リクエストのアクセスログ	問題の根本原因および問題の領域を特定

レポート	説明	使用方法
平均CPU使用率	アプリケーションサーバーのCPU使用率	負荷/トラフィックの変化が主な原因で発生(インフラストラクチャを適宜拡張)
受信トラフィックの合計	要求の合計サイズ	大量のデータアップロードを試行しているユーザーの特定(攻撃の可能性)
送信トラフィックの合計	応答の合計サイズ	大量のデータダウンロードを試行しているユーザーの特定(データ盗難の可能性)
アプリケーションサーバーエラー(数)	アプリケーションサーバーからのエラー応答	サーバーのエラーをデバッグ(攻撃のスキャンでも可)
WAF イベント(数)	適用された各ポリシーのWAF イベント数	攻撃または誤検出を確認してブロックまたはポリシーを調整
アプリケーションサーバー監視	アプリケーションサーバーからの応答の有無	アプリケーションサーバーの状態を確認して修正
アプリケーションサーバーエラーの割合	トラフィックがエラーになっている部分	過剰なエラーの場合はサーバーをデバッグ
アプリケーションサーバー接続エラー(数)	アプリケーションサーバーのTCP接続失敗	アプリケーションサーバーをデバッグして正常化またはインフラストラクチャを拡張
アプリケーションサーバーの遅延時間	アプリケーションサーバーからの応答時間	アプリケーションサーバーをデバッグして応答時間を改善またはインフラストラクチャを拡張
アプリケーションサーバーでペンディング中のリクエスト	受信できるキュー内のリクエスト	アプリケーションサーバーをデバッグまたはインフラストラクチャを拡張

システム要件

A10 Harmony Controller : SaaS型

サービスとして提供される SaaS ベースの Harmony Controller サブシステムは、A10 によって管理、モニタされます。Harmony Controller システムは、米国のパブリッククラウド上に展開されています。

Harmony Controller は隔離された環境に配置されており、ネットワークレイヤの ACL によって権限のある担当者のみアクセスが許可されます。サブシステム内でのデータの交換には強力な暗号を使用しています。パスワードや SSL 秘密鍵などの機密データに対しても強力な暗号方式を採用して、データベースに格納しています。外部からのアクセスは、常に業界標準の SSL 通信を通して行われます。

A10 Networks では、定期的にセキュリティスキャンとセキュリティ脆弱性の監査を実施しています。そのため、Harmony Controller が提供する複数層のセキュリティは、セキュリティとコンプライアンスの確保が検証された状態にあります。

A10 Harmony Controller : セルフマネージド型

Harmony Controller は、管理及び制御可能な環境下において、必要に応じてソフトウェアライセンスとして取得することができます。このモデルでは、社内データセンター、プライベートクラウド、または Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud Platform などのパブリッククラウドに Harmony Controller を柔軟に展開できます。

トラフィック管理やセキュリティは、上記の SaaS モデルと同様に動作します。詳細なシステム要件については、A10 Harmony Controller のデータシートを参照してください。

A10 Lightning ADC

A10 Lightning ADCは、Docker コンテナを使用して、AWSまたはAzureのクラウドプラットフォームをはじめとする多様なプラットフォーム上で構成できます。ベストプラクティスでは、アプリケーションサーバーと同じサブネットにA10 Lightning ADCを構成します。高可用性を確保するため、2つ以上のインスタンス導入をお勧めします。

A10 Networks/A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はアプリケーションネットワークングおよびセキュリティ分野におけるリーダーとして、高性能なアプリケーションネットワークングソリューションを提供しています。お客様のデータセンターにおいて、アプリケーションとネットワークを高速化し可用性と安全性を確保しています。A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10 ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークングソリューションをご提供することを使命としています。詳しくはホームページをご覧ください。

www.a10networks.co.jp

Facebook: <http://www.facebook.com/A10networksjapan>

A10ネットワークス株式会社

jinfo@a10networks.com
www.a10networks.co.jp

海外拠点

北米 (A10 Networks本社)

sales@a10networks.com

ヨーロッパ

emea_sales@a10networks.com

南米

latam_sales@a10networks.com

中国

china_sales@a10networks.com

香港

HongKong@a10networks.com

台湾

taiwan@a10networks.com

韓国

korea@a10networks.com

南アジア

SouthAsia@a10networks.com

オーストラリア/ニュージーランド

anz_sales@a10networks.com

お客様のビジネスを強化するA10のアプリケーションサービスゲートウェイ、Thunderの詳細は、A10ネットワークスのWebサイトwww.a10networks.co.jpをご覧ください。になるか、A10の営業担当者にご連絡ください。

Part Number: A10-DS-15121-JA-02
May 2017